

ご挨拶

財団創立10周年に際して



財団法人淡海環境保全財団
理事長 田口 宇一郎

当

財団は平成十五年度で創立十周年を迎えることとなりました。平成

五年度に県と市町村の出資によって設立されました当財団は、真に豊かな生活環境の実現をめざし、県民、事業者、行政と一体となって、環境保全に積極的に取り組んできたところでもあります。この間、平成十年度には滋賀県自然保護財団、滋賀県自然保護協会を統合するとともに、平成十二年度には滋賀県地球温暖化防止活動推進センターを、さらに平成十五年度には滋賀グリーン購入ネットワーク事務局をそれぞれ付設し、名実ともに民間環境団体の中核として活動基盤を整備してまいりました。

ところであり、折しも昨年七月に成立した「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」に象徴されるように、環境保全に関する情報提供及び体験機会の提供、並びに環境保全についての理解を深めるための教育及び学習の重要性が今、クローズアップされてきています。

こうした中で、財団におきましては、地球温暖化防止活動の推進事業をはじめ、琵琶湖における生態系や水質保全、散在性ゴミ対策を中心とした環境美化事業、循環型社会の実現をめざしてのエコライフに関する事業等の県行政と連携した事業のほか、独自の事業として、環境保全を推進するための情報発信や環境学習それに活動支援の事業、さらにヨシの活用を図るための収益事業等の諸事業を積極的に展開し、美しく住み良い湖国滋賀の創造に寄与するため、

日々努力を重ねているところであります。

この「明日の淡海」は、身近な環境問題や県内各地で取り組まれている環境保全活動を分かりやすく、そして親しみやすく読者に伝えていくとともに、環境学習のための積極的な情報提供を心がけているところでもあります。

環境問題の解決のためには、一人ひとりの心の中に環境保全に対する意識を醸成するとともに、取り組みの意欲を高めることが必要であります。

今後とも、当財団は、環境を守り、自然との共生をめざす人々の良きパートナーとして地道な活動を続けながら、環境に対する思いやりのある人を一人でも多く増やしていくために鋭意邁進してまいります。所存でありますので、引き続きご支援ご協力をよろしく願います。